

製品名: STAT6 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21185**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:500-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:94kD;Observed MW:110kD

抗原情報

遺伝子名	STAT6
別名	STAT6;Signal transducer and activator of transcription 6;IL-4 Stat
遺伝子 ID	6778.0
SwissProt ID	P42226
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

背景

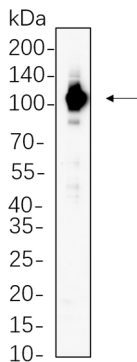
細胞局在: 核。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、転写因子 STAT ファミリーのメンバーである。サイトカインおよび増

殖因子に応答して、STATファミリーのメンバーは受容体関連キナーゼによってリン酸化され、その後ホモ二量体またはヘテロ二量体を形成し、細胞核に移行して転写活性化因子として作用する。このタンパク質は、IL4を介した生物学的応答の発現において中心的な役割を果たす。IL4の抗アポトーシス活性を担うBCL2L1/BCL-X(L)の発現を誘導することが分かっている。マウスを用いたノックアウト研究では、この遺伝子がTヘルパー2(Th2)細胞の分化、細胞表面マーカーの発現、および免疫グロブリンのクラススイッチに関与することが示唆されている。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq提供、2010年5月]

研究分野

-

画像データ



HeLa細胞ライセートを4~20% SDS-PAGEで分離し、膜をSTAT6ウサギモノクローナル抗体(1:1000)でブロットニングした。抗体の検出にはHRP標識ヤギ抗ウサギIgG(H+L)抗体を用いた。